

・多摩高校ギターアンサンブル部文化祭レポート・

文化祭テーマ作りから文化祭の片づけまで、ギタサンの様子をご紹介します!!



目次

文化祭ができるまで 2 ページ

文化祭の準備が始まってから、終わって片づけをするまで、月ごとに紹介します

文化祭係紹介 5 ページ

文化祭を成功させるために頑張ってきた各係を紹介します。

曲について 8 ページ

文化祭で演奏した曲ができるまでを紹介します。

感想 13 ページ

進行係長、学生指揮者 2 人から今回の文化祭の感想・反省をいただきました。

文化祭ができるまで

<5月>

部活の中で「文化祭」という言葉が出始めたのは早くも、5月が始まってすぐのことでした。パートが決まってから約2週間後の5月中旬にはすでに文化祭のテーマ「World Guitar Classic」や、アンコール曲の「アゲハ蝶」などが決まっていたいました。

重奏については曲も決まり、すでに練習に取りかかる団体もありました。

<6月>

今年は被服室での開催ということもあって、視聴覚室を使っていた例年ほど、他の部活と話し合うことはありませんでしたが、それでもこの時期は多くの時間、他の部活との話し合いをしていたようです。

<7月>

三重総文、コンクールに向けての練習が始まったため、文化祭を意識されない日々が続きました。しかし、各係では当日までのリハーサルの日程や、Tシャツのデザイン、曲調べなどが進んでいきました。

<8月>

コンクールへの練習が本格的に進むなか、4日から7日まで文化祭のリハーサルを行いました。この時期はまだ弾ける曲が少なく実際に弾くことは出来なかったためしっかりと動きのチェックができました。



さらに23日にもリハーサルを行いました。この時には刹那や、重奏なども確認して前回よりも曲に集中できたリハーサルとなりました。急遽、整理券の配布が決定するなどのハプニングが続く中、看板の完成、司会の原稿の完成や練習、そして最終的な文化祭当日の流れなども着々と進み、だんだん文化祭も意識され始めました。

〈9 月〉

コンクールが終わり、本格的に文化祭準備が始まりました。

文化祭一週間前になると T シャツも届き、パンフレットもほぼ完成しました。

曲の練習も毎日全曲をこなすなど、コンクール前よりもハードスケジュールとなりました。しかし、夏休みと比べると練習時間がかなり減ったため、バックナールとサージⅡも以前のような演奏が出来にくくなってしまったようでした。

文化祭準備期間に入ると、勧誘用のポスターや、会場設置などをしました。

前日ぎりぎりまで文化祭のリハーサルを行い、準備は万全となりました。

〈当日 1 日目〉



12 時 30 分からの初公演を行うため部員は全員 1 時間前に集まり、最終チェックを行いました。

初公演ということもあり、なかなかうまく行かないことがたくさんあったようです。

雨が降っていたのにもかかわらず、整理券を配る時間の 20 分前から並んでいるお客さん

もいらっしやったりして、最終的には 100 人以上のお客さんがギタサンの公演を見に来てくださいました。

曲の面では、お客さんや先輩方からの大きな拍手により、演奏者のモチベーションが上がったため、楽しい演奏、最高の演奏ができたと思います。

演奏終了後、被服室に全員集まり、今回の演奏の反省や次の日の公演の確認を行いました。

そして T 先生の言葉により大きな席の移動を行いました。いきなりだったのにもかかわらず、部員は臨機応変な行動が出来たと思います。



〈当日 2 日目〉



10 時 30 分からの公演は整理券がなかったため、文化祭が開場してからすぐにたくさんのお客さんがいらっしやいました。

部員は 9 時 30 分に集まり、席の移動などの確認を行いました。席の配置を大きく変えたため、部員は多くの不安を抱えながら本番を迎えました。

そして 10 時 30 分から被服室は素晴らしい響きに

包まりました！今回も先輩たちが盛り上げてくれたりして、最高の演奏ができました。

しかし、やっぱり席の移動での小さなハプニングはあったようです。

14時30分からの最終公演は整理券を配る1時間前からお客さんが並んでくださっていたようです。

OB・OGの先輩方や3年生の先輩がた、お客さんが今までの公演の中で最もたくさん来てくださいました！

2年生にとっては最後の文化祭での公演というのもあってか、今まで楽しそうに弾いていた2年生にも少し悲しそうな顔や、緊張した顔が見えました。



最後は一人一人悔いの残らない演奏が出来たでしょうか？

最終公演はいままでの反省を全て生かし、最高の演奏ができたと思います！

公演終了後、部員は文化祭を最後まで楽しんでいたようです♪

＜文化祭の次の日＞

被服室の片づけを中心に、書いていただいたアンケートをまとめたり、パンフレットやポスターの片付けなどをしました。

さすがにここまでのハードスケジュールがひびき、部員からは疲れが見えたようです。

ここまで一番がんばってきた進行長さんや練習してきた部員のみなさん、お疲れ様でした！

文化祭係紹介

進行係 (2年生:8人・1年生:5人・計:13人)



文化祭全体の進行の流れを考えたり、リハーサルを計画したり、ほかの部活との話し合いを行う、総務のようなものです。

進行係は4月の後半からもう会議が始まりました。

5月にはいると文化祭の1年生の係り決めや、テーマ決めの進行を勤めました。さらに今年はミニコンの会場に被服室が候補に上がったため、進行の仕事は多くなりました。

6月、7月はコンクールの練習に時間が費やされたので、会議を開く時間が少なくなったが、今年の演奏日程や、進行表の作成が始まりました。

8月はリハーサルの準備や仕切りを担当し、下旬にはいきなり整理券の制作が始まりました。

文化祭当日も会場の掃除・設置、文化祭の実行など大忙しでした。

進行係がなくては始まらなかった文化祭、本当にありがとうございました！

司会係 (2年生:5人・1年生:6人・計11人)



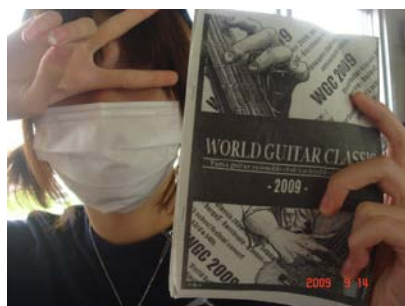
本番の司会原稿の作成、そして今年は現役による司会を行いました。

司会係の活動は夏休み前から始まりました。下準備として曲紹介の原稿を全員で分担して書き、それを何度も細かく修正していきました。

今年は例年とは違い、当日の司会を現役が受け持ったため、8月後半は動きやローテンションの確認、マイクの扱い方などを重点的に練習しました。文化祭当日の2日目は席の配置が大きく変わったため、マイクの位置やローテンションが予定と大幅に変わってしまいましたが、各司会係の柔軟な対応もあって乗り越えることが出来ました。次回の課題として今回は原稿の校訂作業でPCの事情による遅れが目立ったため、USBメモリーの購入を検討するそうです。

おつかれさまでした！

パンフレット係(2年生:7人・1年生:6人・計:13人)



公演のときに配布するパンフレット・アンケートの作成、印刷、製本を行います。

パンフレット係は夏休み中盤から1年生・重奏責任者による曲調べが始まりました。夏休み後半になると各ページの作成が始まりました。夏休みが終わる、テスト期間が始まって忙しくなる中、去

年のパンフレットを参考に作成が完了しました。テスト終了後、400部の印刷、製本を行いました。

製本し終わったあとに漢字ミスなどが発見されたりなど、たくさんのハプニングもあったようです。美術選択の人を中心に文化祭らしいパンフレットを作ってくれました!お疲れ様でした♪

集客係(2年生:10人・1年生:11人・計:21人)



勧誘用のポスターや床ポスター、持ち看板の制作・貼り付けや当日のお客さんの勧誘をします。

例年通り、準備は8月中旬から始まりました。始めは集客グッズを作り始め、コンクール前にほとんど作り終えました。文化祭準備期間にはビラの作成や、校内に宣伝広告用のポスターや床看板の

貼り付けを行いました。

今年は被服室での公演だったため、演奏者の身内の方や、OB, OGの先輩方のお客さんが多く、例年とは違い、今年の集客は整理券の存在を伝えることが主な仕事となりました。集客の機能を果たすためには、もっと広い会場での公演を検討することが必要のようです。

看板係(2年生:10人・1年生:10人・計:20人)



会場の看板や写真集の作成、うちわの作成、会場の飾りつけを行います。

デザインはTシャツのデザインと同じだったため、6月ごろに決まり、作成は8月の中旬から行いました。デザイン発案者の助けのおかげもあって2週間ぐらいで色塗りなども終わり

ました！

また写真集は 1 年生を中心に 1 週間ほどで完成しました。とても分かりやすくまとまっていて、楽しいものになったと思います！

うちわ作りは 8 月ごろから始まりましたが、150 枚という量だったため、看板係以外のたくさんの人に手伝っていただき、文化祭 1 週間前くらいに無事に完成することが出来ました。

衣装係 (2 年生:4 人・1 年生:3 人・計 7 人)



当日に全員着る T シャツのデザインから発注を行います。

6 月ごろにデザインや、配色などを決めました。今年はデザインの色が 2 色といった凝ったデザインになっていたため、かっこいいものに仕上がりました！

業者との兼ね合いはとても大変だったため、9 月ごろに衣装が届きました。

本当にとってもかっこいいデザインだったと思います。

曲について

刹那

全国ギター合奏コンクールの全体合奏のために練習が始まり、文化祭ではオープニング曲として演奏しました。

練習はコンクールの練習で忙しい中、14日に初合わせを行いました。コンクールでは参加校全員で演奏する曲だったため演奏する楽しさを求めて練習しましたが、文化祭では多摩高だけの演奏になるので、曲調を考え練習しました。練習期間は1ヶ月ほどで、さらに初めの2週間はコンクールの練習に時間をさかれていたので音楽的に良い演奏が出来たとは思いませんが、今年度初のポップスと言う事で、部員は息抜きとして楽しく演奏が出来たと思います。本番ではギターの楽しさが伝わる演奏が出来たと思います。

ガボット

この曲は多摩ギターアンサンブル部伝統の曲として有名です。

1年生の始めて練習する合奏曲、練習は4月から始まり6月ごろまで練習しました。夏休みに行われた三重総文で練習は再開したものの、その後はコンクールの練習のため、ガボットを弾く機会は全くなりませんでした。8月のリハーサルなどで久しぶりに弾くと運指は忘れてないまでも、「成長」というイメージや曲調は忘れかけられていました。再び本格的に練習が始まったのは9月のことでしたが、1度やったことはすぐに思い出せるようで、前までの感覚はすぐに戻ってきました。

本番の演奏では2年生は若干去年のイメージ「夢」が残っていたようです。

ジブリメドレー(重奏)*6人



5月の始めに、重奏のメンバーが決まり、ジブリメドレーを演奏することに決めたが、もとも多摩高にあったジブリメドレーとは中の曲を変えることにしました。そのため、先輩に新たに編曲していただきましたが、頼んでいた曲が間違っていたなどのハプニングが発生して、他の団体とは大幅に練習が遅れてしまいました。8月に入り、やっとちょこちょこ合わせを始め、最後まで弾けるようになりました。しかしメドレー特有の曲が変わるときのテンポの変化がなかなかうまく行きませんでした。9月に入り、編曲をしていただいた先輩や、T先生に演奏をみていただき、新たに課題を見つけました。

ジブリの映画を見るなどの工夫をして本番に挑みました。
本番ではちょっとしたネタをふまえて、4ヶ月前にイメージした理想の重奏を実現することが出来ました。
～ジブリメドレー重奏代表者より一言～
みんなホントにお疲れ!たまにはみんなでジブリ弾こうね!!

In the mood(重奏)*6人



この重奏団体は早くも3月に結成していました。曲決めまでは3週間かかり、5月に決まりました。この重奏団体は今までにやったことのないジャズを選びました。そのため、曲を掴むのが難しかったです。6月に楽譜を配り、7月に初合わせをしました。その後は本格的にコンクールの練習に時間を費やしていたため、なかなか練習はできませんでした。夏休みが終わり、9月に入ってもメンバーの都合が合わなかったため、文化祭5日前から本格的に練習がはじまりました。朝練の得意なメンバーだったということもあって、練習は主に朝やっていました。当日の演出については4日前の重奏会議で決まりました。文化祭当日は2日間とも出演だったため、2日とも朝7時に集合して練習をしていました。1ヶ月前に1人がAlto1stパートからソプラノパートに転向する・メンバーのドクターストップ、メンバーの予定がなかなかあわなく、練習時間があまり取れなかったなどのトラブルに合いましたが、2日とも笑顔で弾けたと思います!



Ander the sea(重奏)*13人



コンミスを中心としたこの重奏団体は6月にパート譜とスコアを配布しました。7月に初合わせをし、8月までに何度か練習をしました。途中で、元の重奏メンバー12人にマラカスが1人増えて13人の大人数の重奏となりました。8月は他の重奏団体同様、コンクールに向けての練習で多くの時間を使っていたため、あまり練習することはできませんでしたが、それでもこの重奏団体は一番練習をしていたような気がします。9月に入り、実際の「Ander the sea」の雰囲気味わう

ためにディズニーシーへ全員で行きました。その後は、より一層「リトル・マーメイド」っぽさが出ていました!そして重奏メンバーをリトル・マーメイドのキャラクターに例えるなどの工夫をし、本番では公演が始まる前の待ち時間に演奏するなどの役を務めました。楽しい演奏が出来ました!

Change the world(重奏)*9人



6月ごろに Eric Clapton が好きな男子たちが集結し、重奏団体が結成しました。

7月ごろにパート譜を配り、各自の練習が始まりました。初合わせではボロボロで全然合わなかったようですが、「最初だし〜」と思いながら、練習をしました。

夏休み前ではメンバーのやる気がでたときに昼休み集まり、練習をするようになりました。

お盆前には練習する場所がなくなり、調理室の前の廊下に座り、練習をしていました。お盆が開けても、暗譜をしていなかったり、メンバーがそろわなかったりとあまり練習がはかどらなかったようです。しかし、夏休み明けになるとなぜか、演奏がよくなっていたようです。文化祭前日、T先生には「はじけろ」というお言葉をいただき、本番を迎えました。

本番は体調不良のため 1 人が欠席してしまうという結果に終わってしまいましたが、メンバーは楽しい演奏が出来たようです。

マリオメドレー(重奏)*7人



各パトリが集結してできたこのパトレンジャー、選曲には時間がかかり最後の最後に出たマリオメドレーを選びました。しかし全曲やると演奏時間がかなり長くなるので全部の曲の半分を減らして本番は演奏しました。

パトリの集団ということもあって、メンバーはコンクールの曲の練習を主にしていたためなかなか個人練もできませんでした。さらに

難易度のかなり高い曲だったので、あわせることも容易ではありませんでした。初合わせは7月に行い、8月にはマリオメドレーを編曲した先輩方に演奏をみてもらいました。「とりあえず楽しく」をモットーに練習してきましたが、8月中旬に入るとコンクールへのストレスで、パトレンジャーの雰囲気はいいとは言

えませんでした。しかし9月に入ってから、演出なども考え始め少しずつ文化祭の雰囲気へ持っていくことが出来ました。そして本番ではとても楽しい演奏が出来ました！

ところでパトリレクでテレビゲームのマリオをやる話はどうなったのでしょうか？笑

アメリカウエスト・サイド・ストーリー (2 学年演奏)



5 月ごろに曲が決まりました。去年先輩方が演奏した「Plink Plank Plunk」のように演奏中に自由に演出が変えられる曲ではなかったことに2年生は残念がっていましたが、実際に演奏してみると明るい曲で弾いていても楽しかったです。

初合わせは6月に行いましたが2年生はあまり練習する時間がなく、9月まで部活の

終わった後に少しずつ練習するような日々が続きました。でも、コンミスが曲調などを明確に示してくれていたのも、個人練も目標を持ってでき、個人のレベルは少しずつ上げることが出来たと思います。

本番はいい演奏が出来ましたが、やっぱりもうちょっと練習時間が欲しかったなと思います。

サージⅡ

サージⅡは全国ギター合奏コンクールの課題曲として、2年生は去年の定演の前に練習を始めました。1年生はガボットが一通り終わった6月ごろに練習をはじめ、全体での練習が始まりました。夏休み中はバックナールと平行してコンクールの練習として毎日練習していました。

コンクールが終わりテスト期間に入ると練習しなくなると、そのブランクが効き、コンクールほどの演奏が出来なくなっていました。その後1週間再びつめていき、本番は3年生の先輩が涙を流してしまうほどいい演奏が出来ました！

バックナール

全国ギター合奏コンクールの自由曲としてサージⅡよりも多く練習したバックナール。コンクールで最優秀賞を獲得したこの曲の楽譜



は5月の中旬に届き、6月の始めに2年生での初合わせ、6月中旬に1,2年生で

の合わせをこなし、それからは毎日、朝から晩まで練習しました。
この曲独特の 1 拍目にある緊張感で、お客さんを響きのとりこにして、この夏の集大成を表す演奏が出来ました。

アゲハ蝶(アンコール曲)



アゲハ蝶の初合わせは 8 月中旬のことでした。8 月は少しずつ練習しましたが、この曲はギターのテクニ克的にすごくアレンジしやすい曲でした。だから、弾いたりストロークをするポジションを変えたりすることでかなり曲が変わりました。

9 月にはいると途中で転調したいという部員の要望と意欲で一時は転調することになりましたが、練習時間やプライムギターのカポタストの問題があがり、今回の演奏での転調はなくなってしまいました。
本番はアンコール曲としてお客さんからの手拍子も加わり会場一体となって楽しい響きを作り上げることが出来ました。

感想

進行長

～大きく分けて2つの感想・・・「もう疲れたよ」と「何この達成感!?!」～
まず、最初のは、のとにかく進行長は疲れます。何度逃げ出したくなったことか・・・文化祭終わるまでいろんな人にいろんなこと質問されるたびに本音は「もういい加減にしてよ。」て思っていましたね。

次のは今年の文化祭は自分で勝手に『挑戦』をテーマにしてきて、文化祭全体でもいろいろご意見をもらいましたが整理券を作ったり、個人的にもジャグリングやコントに挑戦させてもらい、とても充実したものでありました。

あとは部員全員がこの文化祭を少しでも楽しめていればいいと思います。

学生指揮者(サージⅡ・アゲハ蝶)

正直文化祭が成功するかほんとにほんとに心配でした。本番二日前のリハでもみんなに全然危機感がなくて・・・泣いちゃうくらいでした。

けどギタサンのみんなは本番に強いから大丈夫だろう、なんとかなるだろうと思って逃げている自分もいました。

確かにどうにかなったけどコンクールの演奏を聴いて文化祭にも足を運んでくださったお客さんに満足していただけるような演奏を伝えることができなかったのがちょっと残念です(>_<)

あ、アンコールで予想通りテンポが素晴らしいことになってみんなごめんね(^_^;)笑



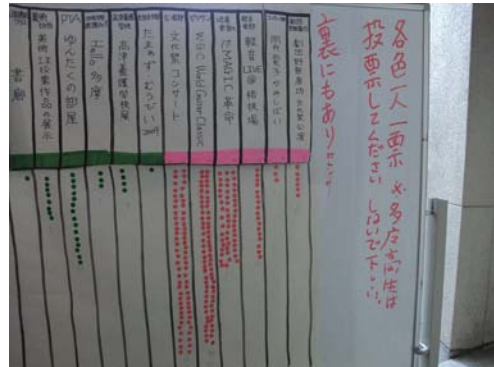
演奏面以外で、整理券制度にしたことや被服室で行うなど去年と変わったことがたくさんあったけどそれを”全員”でしっかり確認できてなかったような気がします。係長だけが頑張ってもこの人数でうまくいくわけないってことは去年の定演のときに先輩たちから言われたことなのに、今年もやっぱりそのことがまだ解決できなくてなかったように感じます。

なので大人数だからこそそのデメリットを減らしていけばもっと良くなれるはずです!!

残りの半年はこれらの反省を生かして演奏はもちろん、他のことも”全員”で創りあげた最高の定演にできるようにしたいと思います!!

学生指揮者(刹那・ガボット・バッカナル)

今年度の文化祭のミニコンサートは、被服室での公演や、整理券の配布など新たな試みが多く、進行長はとても大変だったと思います。ですが、3回の公演とも大成功に終わり、文化祭演奏部門でも1位を獲得しました。文化祭を成功させることができて良かったです、進行長さん、みんなありがとう！



駄文・長文でしたが、ここまで読んでいただきありがとうございました。
これからは部員一同 4 月 4 日、ミューザ川崎で行われる定期演奏会へ向け練習に励んでいきます。どうぞ応援をよろしくおねがいします。



ありがとうございました★